



旬の食材を知ることの大切さ

5月9日（木）に、2年生が、そら豆の皮むきに挑戦しました。家庭科室に置いていたたくさんのそら豆を見て驚きながら、皮むきの手順を聞いて、実際の作業に移りました。要領を素早くつかんでいたのも、あっという間に用意していたすべてのそら豆の皮をむき終わりました。子どもたちは、「もっとむきたい」と言っていましたので、よほど楽しかったのでしょう。今回のそら豆が翌日の給食に使われるというのもモチベーションになったはずです。

このように実際の食材を見たり、それに触れたりすることは、食育では大事なことだと思います。場合によっては触ることができないものもありますので、その点は十分配慮しなければなりません。が、旬を知ること、その食材の特徴に関心をもつことは必要であると考えています。本校には、栄養教諭が配置されていますので、その利点を生かして、今後も子どもたちの成長に関わる食育を進めていきたいと思えます。

今の時期から豆類が旬に入ります。学校では、給食用の掲示スペースを利用して、実際の豆を展示したり、豆の名前を書いたりして旬の素材に関心をもつことができるようにしています。ご家庭でも、旬の食材について話をしながら、食卓を囲んでみてはいかがでしょうか。



1・2年生が学校探検を行いました

5月8日（水）に生活科の学習で、1年生が学校探検を行いました。2年生が案内役です。

1年生は自分の教室が学校生活の中心ですので、家庭科室や理科室などの特別教室には興味津々。何に使うのか考えたり、教室にどんなものがあるのかを確かめたりしていました。2年生は、1年先輩ですので校内を分かりやすく案内していました。1年生のために教室に置いてあるスタンプを押したり、手を引いて教室に連れて行ったりする優しい姿を見て、2年生の成長を感じました。1、2年生が協力して授業をすることで、互いのことを知り合えたのは大変よかったと思えます。



新体力テストを実施しました

5月7日（火）に体育館と運動場で新体力テストを実施しました。全国的に新型コロナウイルス感染症の影響で落ちていた体力が、昨年度から少しずつ改善傾向になっています。子どもたちは、どの種目においても昨年度以上の記録を出そうと一生懸命頑張っていました。体力だけでなく、「全力を出そうとする気力」も大事です。新体力テストの記録を基にしながら、体育科の学習や普段の遊びを通して運動の習慣化を図っていききたいと思います。

